

ふ え き りゅうこう 「不易流行」 –教育長だよー No.3

1枚のカードが地域との朝の出会いを作ってくれたことに感謝。

朝、6時30分。今年も夏休みは、地域の子どもたちや住民のみなさんとの「ラジオ体操」から一日がスタート!

私の住む地域の子どもたち（ほとんどが小学生ですが。）と大人を合わせて、約30人が大きくはない歌声と「1、2、3」の声をかけながら、ラジオから流れる小気味よい伴奏に促されて、体操すること約10分。「明日は、〇〇からお送りします。」のラジオ体操終了と同時に、カードに「出席」した証^{あかし}のスタンプをもらうための列ができます。

子どもたちにとってはそれほどでもない身体の動きですが、私は、ほんのり、いや、かなり汗をかきながら、「日頃、動かしていないので。」と自分自身に勝手な言い訳をして、体操の後の身体を癒^{いや}しながらゆっくりと列に並びます。そして、「お願いします。」とカードを出すと、「はい。」と言って6年生がスタンプを押してくれます。カードを返してもらい、「ありがとう。」と言うと、その時は、「明日も参加しよう。」という気持ちになります。私が小学生の頃とあまり変わっていません。

朝の涼しい時間帯に、夏休みの宿題をすることに…。

実は、私が小学生の時の約束ごとで、午前10時までは、外に遊びに出るはいけないことになっていました。それは、ラジオ体操の後は、朝の涼しい時間帯に、夏休みの宿題をすることになっていたからです。でも、ご飯を食べてからは、アブラゼミやミンミンゼミ（朝夕はヒグラシも。）の大きな鳴き声の子守唄にして、寝ていたような…そんな感じで、結構、10時までを好きなように過ごしていました。昼からは、学校のプールで楽しんでいし…。

こんな夏休みの毎日の生活だったので、毎年のように夏休みの最終週は、ツクツクボウシの鳴き声を聞きながら宿題をするのが大変でした。特に、日記は天気がわからなくて妹に助けてもらっていたことをよく覚えています。

子どもたちの姿や笑顔に出会いたい。

夏休みの間、各地域での夏祭りや図書館（移動図書館）、ホールやコミセンなどの大会や事業等で市内の子どもたちが活動している場所には、「子どもたちの姿や笑顔に出会いたい。」の思いからできるだけ出かけるようにしています。

少し大げさかもしれませんが、1枚のカードが地域の子どもたちや住民のみなさんとの朝の出会いを作ってくれたことに感謝。毎日の「おはよう。」の声とラジオ体操で身体を動かすことが、私の一日のスタートになっています。